

178 尿 素 中 毒

担当	検 査 チ ャ ー ト			
家畜保健衛生所	(1) 疫学調査 (2) 臨床検査 (死亡畜、と畜等) → (3) 剖 検 (血漿)			
病性鑑定施設	(4) 生化学分析 (5) 病理組織検査 (+) (-) (+) (-)			
判定・結果	(+)	(-)	(+)	(-)
最終判定	判定は総合的に判断する。			
その他				

→類似疾病検査

- ① 21 破傷風 ② 2 炭疽 ③ 52 リステリア症 ④ 180 分娩性低カルシウム血症
- ⑤ 179 低マグネシウム血症 ⑥ 177 硝酸塩中毒 ⑦ 50 ヒストフィルス・ソムニ感染症
- ⑧ 186 大脳皮質壊死症

(1) 疫学調査

- ① 尿素およびその誘導体(ジウレイドイソブタン)含有飼料を給与している。
- ② 採食後一時間前後で発症する。
- ③ 軽症の場合は5～10時間で回復する。

(2) 臨床検査

- ① 食欲の廃絶
- ② 不安症状
- ③ 全身性強直性痙攣(牙関緊急、後弓反張)
- ④ 全身的な静脈の怒張
- ⑤ 心悸亢進
- ⑥ 呼吸困難
- ⑦ 泡沫性流涎
- ⑧ 昏睡

(3) 剖 検

- ① 第一胃内容物のアンモニア臭
- ② 心外膜下出血、右心室の拡張
- ③ 肝臓および腎臓のうっ血
- ④ 脳硬膜、側脳室、脈絡脳叢の充血

(4) 生化学分析

血中アンモニア濃度の測定: 藤井・奥田法変法²⁾、ドライケミストリー(実験投与例では2mg/dlで死亡)¹⁾

全血を放置するとアンモニア値が上昇するので、ヘパリンあるいはEDTA管に採血したものを直ちに氷冷し、速やかに血漿を分離する。

(5) 病理組織検査

- ① カタル性、ときに出血性の腸炎
- ② 急性カタル性気管支炎
- ③ 軽微な中毒性肝炎とネフローシス
- ④ 神経細胞の変性、軟膜の出血

(参考文献)

・家畜中毒診断のためのオンラインマニュアル

(http://www.naro.affrc.go.jp/org/niah/disease_poisoning/manual/index.html)

1) Word, J.D., et al.: J. Anim. Sci. 29, 786 (1969).

2) 家畜共済における臨床病理検査要領(平成9年改訂). 138-139、全国農業共済協会(1997).